

「ぶんごおおので ゼロからはじめる農業（ピーマン）」

●豊後大野市のピーマン経営の特徴

研修生3組6名募集中

豊後大野市は、大野川及びその支流河川の豊かな水利を利用した水田地帯と県内屈指の基盤整備された畑作地帯を有しています。夏秋ピーマンの栽培技術の習得を目的とした就農学校「インキュベーションファーム」を開設し、毎年3組の研修生を募集しています。これまで24組48名が就農しています。比較的初期投資が少なく、平均単価の安定したピーマンで就農してみませんか。

・豊後大野市夏秋ピーマンの栽培概要と特徴

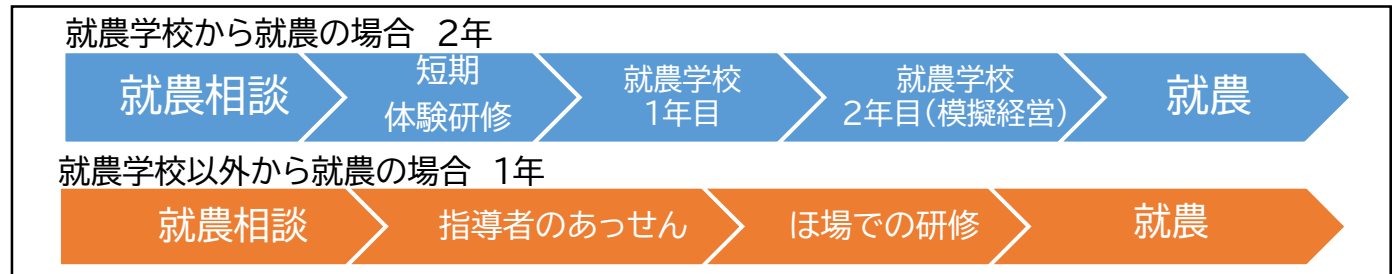
- ◆豊後大野市の野菜販売額 約14億9千万円のうち約5億円を売り上げる主力品目（令和4年実績）。
- ◆生産者数及び出荷量、販売額ともに市内最多。
- ◆3m間口の簡易パイプハウスを利用した栽培方法。比較的初期投資が少く、労働環境が安定。
- ◆栽培技術の習得が比較的容易で、平均単価が安定。
- ◆3月から11月中旬にかけての農繁期は、ハウス及び苗を管理しながらピーマンを収穫。収穫は5月から11月中旬。5月から9月が収穫の最盛期。
- ◆11月中旬から2月までの農閑期は、畑の片付けや土づくりが主。農業経営の確定申告準備。

複合品目の紹介 ・スイートピーや甘藷、白ネギ、ちぢみほうれん草、ヤマジノギク栽培

●ピーマン栽培のスケジュール

品目名/月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
(ピーマン)	土づくり		定植					収	穫			片づけ

●就農までの流れ



就農5年目の経営目標

- ◆品目・規模・収量(単収/10a)
- ・ピーマン 15a 27t (18t/10a)
- ◆従事者
- ・家族 2人
- ◆販売額・所得
- ・販売額 846万円
- ・所得 402万円

・単収増加
・複合品目栽培開始

就農10年目の経営目標

- ◆品目・規模・収量(単収/10a)
- ・ピーマン 15a 28.5t (19t/10a)
- ・スイートピー 6a 10万本(17万本/10a)
- ◆従事者
- ・家族 2人
- ・雇用 2人 ※年間を通じ必要に応じて
- ◆販売額・所得
- ・販売額 1,250万円
- ・所得 608万円

※減価償却費は所得に含む。

※経営目標はあくまでも目標であり、補償するものではありません。

●モデル経営体の紹介

氏名 塚越 功一（つかごし こういち）・悠（はるか）

経営概要

ピーマン 面積 14.7アール 単収 19.5トン
スイートピー 面積 6アール 単収 200,000本
構成員 2名

就農7年目

経営理念

「基本技術が一番重要」

「基本を繰り返し実践することが大切」

メッセージ

豊後大野市の大地でピーマンを主力とした農業者を
目指しましょう。



●私たちがサポートします

大分県農業協同組合ピーマン生産部会豊後大野支部

・部会員数 114戸
・産地面積 12.86ヘクタール

新規栽培者へのフォロー体制の構築
(座学研修、チーム巡回指導)

豊後大野市インキュベーションファーム

・相談役 1名
・営農指導員 1名



生産部会研修の様子



インキュベーションファーム研修の様子

●豊後大野市の支援策

- ・農業研修制度(インキュベーションファーム研修)：募集期間 毎年1月から9月末まで
：研修期間 2年間(毎年1月から翌年の12月まで)
- ・新規就農者等への支援：担い手経営強化対策事業補助金(トラクター等) 担い手就農支援交付金
- ・子育て支援：未就学児及び小中高生医療費助成(高校生までの医療費無償化)
- ・移住関連の支援：空き家バンク制度を活用した空き家改修や空き家購入経費への助成

●産地が求める人材

- ・ピーマンの生産を通じて「農家」を志向する方はもとより、
地域社会の一員として地域活動にも積極的に参画できる方
- ・インキュベーションファーム研修 研修生3組6名(研修開始時55歳未満)

●問い合わせ先

JAおおいた 豊肥営農経済センター
営農支援課
〒878-0026 竹田市大字飛田川2095-1
TEL:0974-63-1016 FAX:0974-63-4484

豊後大野市役所 農業振興課 担い手支援係
〒879-7198 豊後大野市三重町市場1200
TEL:0974-22-1001 FAX:0974-22-1426
メール:bo130020@city.bungoono.lg.jp
ホームページ: <https://www.bungo-ohno.jp/>

★インキュ
ベーション
ファームの
問合せは
こちらへ⇒

